

若者目線で課題解決提案

8サポ学生ビジネスコンテスト

八戸市が開設する「はちのへ創業・事業承継サポートセンター(8サポ)」は8日、同市のコワーキングカフェエスタシオンで、市内の高校や大学に通う生徒や学生によるビジネスアイデアコンテストを開いた。5チームが地域の課題解決に向けて考案したビジネスプランを発表し、最高賞のベストアイデア賞には、2チームが選ばれた。

(柴田佳弥)

ベストアイデア賞に2チーム選出

木村さん^(小3) 高校生ホコテンで舞を披露「ストリート神楽」

八戸高1年ム 送迎の待ち時間解消「中心街暇つぶしプロジェクト」

起業支援プラットフォーム「8サポmeet」の「学生起業チャレンジコミュニケーション」活動として実施。二つの賞に応じて学生のプラン実現への活動資金を提供する。学生らは4月から各プランを考えてきた。

ベストアイデア賞に選ばれた八戸学院大3年の木村一登さん(20)は、所属する市川神楽の伝統継承に向けて10月の高校生ホコテンで舞を披露する「ストリート神楽」などを提案。「イベント企画で市川神楽のストーリーをどう届けるか考えたい」と意気込む。

青森県立八戸高1年のチームも、保護者の高校生送迎による待ち時間を解消するための「中心街暇つぶしプロジェクト」で同賞を獲得。既存店舗を活用し、手作りの雑貨や古本をそろえた雑貨漫画カフェを考案した。チームの佐藤有希さん(16)は「メンバー全員が市外出身なので、まずは親に使ってもらえればと考えた。待ち時間を減らせれば」と今後に意欲を示した。

また、3チームにフレッシュアイデア賞が贈られた。9月以降、資金を活用して実際に活動を行い、来年3月に報告会を実施する。